

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	東高根森林公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所川崎治水センター）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

利用促進に重点的に取り組み、特に花・植物等の情報展示とスタッフによる公園の案内が充実し、また、当公園の特色を生かした新規イベントを数多く開催するなど、来園者の要望に応えるように積極的に努めたことが評価できる。さらに、ボランティア登録制度による管理が開始したことで提案の取組みが前進した。

以上の結果、来園者からアンケートなどで好評価を得るとともに春季の来園者がわずかながら増加し、また、計画どおり管理業務が実施され、収支状況も問題もなく、良好な管理運営状況であるのでB評価とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月12日	○	○	○	無	
5月	6月10日	7月4日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月19日	○	○	○	無	
7月	8月10日	9月4日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月27日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月22日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	魅力的で人気の高いイベントを継続実施し、ニーズに対応したイベントを開催する。	<p>「夏休み古代体験会」「古代の布を編む」など、当公園の特色のひとつである東高根遺跡の古代生活にまつわる新規イベントを展開し、ユニークで貴重な体験ができるイベントとして参加者から多くの好評を得た。</p> <p>また、夏休み中の親子の参加者を増やすため「夏休み宿題工作」を2回開催した。さらに、高齢者の健康志向をターゲットにした「草笛教室」を例月イベントとして新規開始し、徐々に参加者が増加している。</p> <p>その他、「植物画展」を新規開催し、以前から人気の高いイベント「そば打ち体験会」「ガーデニング教室」「自然観察会」などは継続実施し、回数を増やしてほしいと要望のあった「健康体操」「スタンプめぐり」を月2回に増やすなど、月に9回以上の魅力的なイベントを開催し、精力的に取組み、来園者のニーズに応じて工夫を凝らしていた。</p>

	提案内容	実施状況
2	イベントや最新情報を積極的に広報PRする。	<p>指定管理者が作成した当公園のホームページを全面リニューアルして「公園だより」や「花だより」を新たにスタートさせ、最新の開花情報、イベント開催結果報告、公園の出来事などを随時更新した。また、インターネット広報や地域情報紙、地元自治会の掲示板等にイベント情報を掲載するよう依頼をした。</p> <p>また、パークセンターに開花情報や動植物に関する知識情報を掲示したり、来園者どうしが情報交換をできるホワイトボードを常設したことが好評を得られた。</p> <p>さらに、新聞2紙の地域版に季節の情報と開花情報が掲載されるよう働きかけ、掲載の当日から来園者が多く訪問する良い反響があった。</p>
3	東高根遺跡の詳細な解説資料を作成し配布する。	<p>パークセンターに展示済みの弥生時代の住居や衣服のレプリカに加えて、来園者の高い要望に応えるため、東高根遺跡の解説資料を掲示したり、川崎市市民ミュージアムの協力を得て遺跡出土土器の現物を展示し、イベントと合わせて遺跡に対する関心と理解が深まる取組みを実施した。</p> <p>また、公園外にも広く出張し、市民ミュージアムにおける講演会に講師を派遣したり、近隣小学校の教諭を対象に東高根遺跡と当公園の紹介をした。</p>
4	パークコーディネーターを配置し多様なニーズにきめ細かく対応したサービスを提供する。	<p>専任のパークコーディネーターを配置し、タイムリーな開花情報を提供し、展示物を増設し、来園者に直接案内するなどサービスを充実させた。</p> <p>また、今期は特にボランティアによる公園管理が開始したことで、活動メニューの組立て、ボランティアとの調整、作業にあたっての指導、作業の目的と植物に関する知識の教授などトータルにコーディネートした。</p> <p>さらに、地元自治会と連絡・調整を行い、地域との連携を促進する役割を果たした。</p>
5	地域ボランティアとの協働による公園運営管理を促進する。	<p>個人の新規ボランティアを登録する登録制度の規約を制定し、3月にボランティア「スマイリングパートナー」の募集を開始し、4月に応募者に対する説明会を開催した。6月から42名による活動が開始し、毎月美化活動、除草、イベント支援、水生生物調査などを行い、作業の目的や植物の知識を学びながら徐々に活躍の場を展開している。</p>
6	周辺教育機関への様々な体験学習の場と機会を提供する。	<p>地域の学校との連携により、当公園の理解を深め将来へ向けての知見と経験を膨らませてもらうため、中学校2校8名が2日間、高校2校4名が3日間の参加により、公園管理作業やイベント運営準備などの職場体験を実施した。</p>
7	公園利用者のセルフガイドとなる「(仮称)東高根図鑑」を作成する。	<p>当公園の野鳥観察に訪れる公園利用者の要望に応じて、野鳥の会、森林インストラクターなどの地域の専門家と協力し、セルフガイドとなる野鳥図鑑の作成を行っており、12月に発刊する予定である。</p> <p>花・植物の図鑑については、今期は掲載写真の選別や原稿作成など、発刊に向けた準備を行っている。今後は原稿決定と印刷製本準備を行い、平成25年度に発刊する予定である。</p>
8	ユニバーサルサービスによるイベントを実施する。	<p>今期は養護施設を訪問しニーズのヒアリングを行ったり、講師の調査と調整を行うなど、イベント内容を検討しており、今年度下半期から実施の予定である。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		44,356	—	5,953	50,309	50,309	0
予算額	前年度	44,309	—	6,060	50,369	50,369	0
	上半期	20,117	—	4,060	24,177	24,177	0
	下半期	24,192	—	2,000	26,192	26,192	0
	今年度	44,309	—	6,060	50,369	50,369	0
	上半期	19,558	—	4,060	23,618	23,618	0
	下半期	24,751	—	2,000	26,751	26,751	0
上半期実績額	4月	2,302	—	776	3,078	3,183	▲ 105
	5月	2,587	—	913	3,500	3,921	▲ 421
	6月	3,844	—	544	4,388	4,417	▲ 29
	7月	3,460	—	452	3,912	4,050	▲ 138
	8月	3,597	—	276	3,873	4,255	▲ 382
	9月	3,766	—	454	4,220	3,754	466
	今年度 上半期合計	19,556	—	3,415	22,971	23,580	▲ 609
	前年度 上半期合計	20,117	—	3,269	23,386	19,800	3,586
	対前年度上半期比				▲ 1.8%	19.1%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	3,457	高木伐採（1,709千円） 倒木除根（651千円） 園路修繕（1,396千円）
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	32,960 人	31,726 人	3.9 %
5月	34,815 人	32,557 人	6.9 %
6月	30,287 人	29,848 人	1.5 %
7月	26,402 人	26,039 人	1.4 %
8月	22,245 人	22,403 人	▲ 0.7 %
9月	24,360 人	25,888 人	▲ 5.9 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	164,000 人	171,069 人	168,461 人	4.4 %	1.6 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	6 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (0)	21 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	木製階段、木製ベンチの腐朽を修理してほしい。	木製階段、木製ベンチは県と協議のうえ修繕可能なものは対応する。
職員対応	犬の放し飼い、猫の餌やりを止めさせてほしい。	声かけで随時対応していく。
事業内容	花や植物の名札、季節ごとの案内がもっとあればよい。	樹名板を増やした。今後も名板の充実を図っていく。
	隣接樹木や越境竹の剪定をしてほしい。	受け付け後、速やかに剪定を実施した。
	アジサイの虫食いが酷く残念である。	環境に配慮しながらハバチを駆除し、被害を食い止めた。
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

今期はこれまで寄せられていた「案内が少ない」「花や植物の情報がほしい」といった要望に応えるため、開花情報や東高根遺跡などの展示物とスタッフによる公園案内の充実に重点的に取り組んでおり、「展示物が充実した」「パークセンターで花の情報がわかる」「スタッフが案内してくれた」といった来園者からの好評価が多く得られ、4月から7月の来園者の増加につながったと考えられる。また、イベントは常に好評を得ており、夏季閑散期の利用促進策として、子供がより参加しやすいように開催回数や時期を変更したり、当公園の特色である古代生活にまつわる新規イベントを開催するなど工夫を凝らしていた。猛暑の影響で結果的に来園者の増加にはつながらなかったが試みは評価できるのでさらに工夫を重ねてより良いイベントへ進化すると思われる。

また、少雨等に起因する夏季の池・水路の藻などの発生による水質悪化対策として、水質浄化材の使用や水路清掃を頻繁に行い、昨年度よりも水質が良好な状態であった結果につながっていることが評価できる。

また、ボランティア登録制度の規約を作成し、ボランティア「スマイリングパートナー」による除草や美化活動などの公園管理が開始され、提案の取組みが前進した。今後も提案の「ユニバーサルイベント」「公園見回り隊」などの着実な実施に向けて取り組んでもらいたい。

さらに、継続的に地域の防災関係機関や自治会との交流に努めており、今後も地域との連携を大切に、下半期の防災イベントの開催を始め、広域避難場所における指定管理者としての役割を確立していくことを期待する。

サービスの充実を図るため今期からスタッフを増員し人件費の割合が大きくなったが、植物管理や施設管理は予算の範囲での対応となるので、今後さらに効率的に管理運営に取り組むため、ボランティアなどの地域との協働が一層盛んになることが望ましい。